

君津インターチェンジ周辺の土地活用に係る検討状況について

企画政策部・経済環境部・建設部
(君津 IC 周辺土地活用検討プロジェクトチーム)

1 これまでの取組

君津市総合計画基本構想「君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり」の位置づけのもと、令和4年度は、庁内プロジェクトチームを創設し、外部委託による企業ニーズ等の調査や、外部有識者による懇話会を行い、3つのコンセプト案を作成した。

令和5年度は、君津 IC 周辺の特性や現況諸条件及び事業者ヒアリング・アンケート等を考慮した業種分析を行い、土地利用構想の検討と、実現に向けた可能性を検証した結果、新たなビジョンを策定した。

令和6年度は、事業化推進に向けた対応検討、事業者ヒアリング、地権者説明会(3回実施、参加者55名)、地権者意向調査(107名中106名回答)、関係機関協議(行政機関、土地改良区、水利組合)、事業化スケジュール案の検討に取り組んだ。

令和7年度は、千葉ロッテマリーンズファーム本拠地移転が決まったことにより開発への後押しが期待されるなか、新たな企業から大規模開発の相談が寄せられる等、複数の企業と対話を重ねた。

2 令和8年度取組

(1) 企業ニーズの獲得

君津 IC 周辺と類似の状況下で開発を手掛けた実績のある企業(ゼネコン・ディベロッパー)やエンドユーザー等から、核となりうる企業の把握に努める。

(2) 地権者との合意形成

地権者説明会を実施するとともに、君津 IC 周辺の土地活用に参画意向のある地権者と勉強会を実施し、本事業への合意形成を図る。

(3) 規制の解決

千葉県の企業誘致を所管する商工労働部、土地利用規制を所管する県土整備部や農振法を所管する農林水産部と連携し、規制の解決を図る。

(4) 事業採算性の検討

開発範囲及び事業手法を検討し、経費を抑える工夫と収入(財源)の向上を図る。